

令和6年10月21日

新都市公園の新たな市のシンボル
「平和のモニュメント」のデザイン決定

市は、令和7年春に完成予定の新都市公園（並松町）に設置する「平和のモニュメント」のデザイン（イメージ）を決定した。

来年10月に、世界連邦都市宣言75周年を迎えるにあたり、世界の平和について考え、祈りの場となるよう、平和の大切さを発信する新たな市のシンボルとして、世界連邦マークをモチーフにしたものとなっている。

財源には市民の寄付及び世界連邦推進事業基金を充当予定で、綾部の景勝・並松の由良川沿いに整備される新しい都市公園にふさわしいデザインとして、市民団体などの意見を聞きながら検討を重ねてきた。

モニュメントの詳細は、別紙のとおり。

記

<モニュメントの概要>

- 名 称：平和のモニュメント
- 所 在 地：新都市公園内（綾部市並松町）
- 規 模：約3m×3m（円柱状）、高さ3m
- 主な機能：取り外し可能な鐘を設置
- 完成時期：令和7年3月（予定）



世界連邦マーク



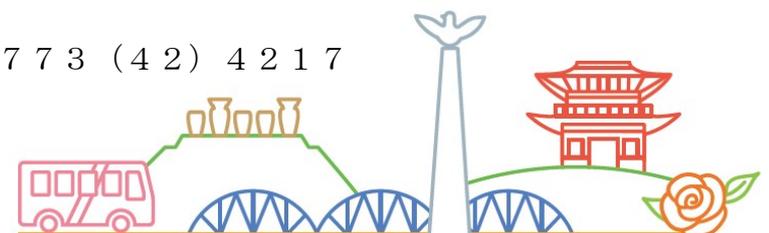
鐘

デザイン

【世界連邦都市宣言】昭和25年に綾部市が世界恒久平和を目指し宣言を行った。
【世界連邦マーク】地球をモチーフにしたもので、世界が結ばれているという意味で二重丸に経緯度を示す十字を斜めに組み合わせている。

<問い合わせ>

企画政策課 課長 鎌部秀樹 電話0773(42)4217



<デザインについて>

鏡面ステンレス製の列柱を円柱状に並べた空間の中に、「世界はひとつ」を表す地球を模した球体を設置。そこに自分の心と周りに広がる世界を写し、現在から過去、そして未来を考え平和を祈る場をイメージしている。世界連邦マークを仰ぎ見ることで、先人が紡いできた世界連邦運動の取り組みに敬意を表し、鐘を鳴らし平和を願う。

<鐘について>

小さな力でも良い音になる鐘を使用。低い位置からでも鳴らすことができ、どなたでもしっかりと音になるものとしている。

鐘は取り外し可能な仕様とし、イベント時のみ取り付ける。

<設置場所について>

藤山山頂の「平和の鐘」と紫水ヶ丘の「平和塔」を見据えた方向に作られた遊歩道の交点に平和モニュメントを設置する。

